

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	越前市	代表者名	市長 山田賢一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	長寿福祉課
担当者役職	課長	担当者氏名	大友浩一
住所	915-0847 福井県越前市府中1丁目13-7		
連絡先電話番号	0778-22-3784		
連絡先E-mail			

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	高齢者システム等の標準化対応事業
概要	システムの標準化対応により、既存の高齢者システム及び要援護者システムを来年度改修したいと考えておりますが、ベンダーからは高額なカスタマイズ費用を提示されており、様々な対応策を模索した上で、来年度の予算要求を行いたいと思っております。		
支援を求める分野	自治体システム標準化・共通化		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	46	令和6年8月7日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月19日	支援・助言(実地)	13時30分	17時15分	15
				活動時間（分）	210
2-2. 派遣場所	会場名	越前市役所	最寄駅	武生駅	
	所在地	越前市府中1丁目13-7	最寄駅からの交通手段	徒歩	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市瀬 英夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本市の抱えている課題を整理していただき、明確かつ適切なアドバイスをいただきました。引き続き、ご支援いただけたらと思っております。
アドバイザーへの要望事項	標準化対応は今後、山場を迎えることになると思いますが、必要に応じてメール等で助言いただけたらと思っております。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	8人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	人数	8	

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	高齢者システムについては、基幹系システムの標準化対応により、EUCで出力される文字コードセットがMJ+に変更となることから、既存の高齢者システムの改修が必要な状況となっている。ベンダーからは高額な見積りを提示されており、来年度当初予算要求までに、どのように対応するか方向性を固める必要がある。手のひら市役所の実現（電子申請の推進）については、マイナポータル、厚生労働省の申請・届出システムでの対応、新たに電子申請のフォーム作成等、どのように進めるか整理した上で対応する必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	高齢者システムについては、財政的に、財源を確保せず高額な改修費用の予算措置を行うのは困難な状況であるため、コストを抑えた対応策を模索していきたい。手のひら市役所の実現（電子申請の推進）については、必要な作業と不要な作業の切り分け、整理を行い、効率的に作業を進めていきたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	高齢者システムについては、丹南広域組合が運用している基幹システムは標準化対応後もこれまでと同様文字コードはJISX0213で運用することになっている。EUCで出力されるファイルの文字コードセットが標準仕様書によりMJ+に変更となるが、現状を踏まえ、基幹システムからの出力ファイルをこれまで同様JISX0213とする方向で交渉するよう助言いただいた。手のひら市役所の実現(電子申請の推進)については、現状の整理について助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	高齢者システムについては、基幹システムの広域での共同利用の事務を行っている丹南広域組合に対し、デジタル政策課からJISX0213でのファイル出力を要請し、交渉を行うこととする。高齢者システムの保守ベンダーに対しては、代替策として、ファイルの取り込みは行わず相談記録の機能のみ職員が手入力で運用する方向で、協議を行うこととする。手のひら市役所の実現(電子申請の推進)については、マイナポータルでの対応、厚生労働省の事業所向け申請・届出システムでの対応、新たに電子申請フォームの作成等の切り分けを行った。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	高齢者システムが基幹システムの標準化対応後も安価かつ適切に運用出来るよう体制を整えた上で、電子申請への対応も積極的に進め、本市の目指す手のひら市役所の実現により、市民のウェルビーイングの向上を図りたい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

